

# 総務教育常任委員会資料

(令和3年12月17日)

## 〔件名〕

- ・巡回企画展「昭和の大合併—39市町村への再編—」の開催  
について **【公文書館】** . . . 2
- ・「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」  
第7回会議の開催について **【淀江産業廃棄物処理施設計画審査室】** . . . 3

総 務 部

## 巡回企画展「昭和の大合併—39市町村への再編—」の開催について

令和3年12月17日  
公文書館

昭和期の地域再編は、昭和2（1927）年の米子市制の施行から始まり、その後、町制への移行や小規模な合併が相次いで行われました。大規模な地域再編は、昭和22年の地方自治法施行以後のことで、昭和27年の知事勧告で本格化し地域の複雑な事情を克服しながら昭和43年までに39の市町村が誕生しました。

本展では、昭和初年から大合併が完了した昭和43年までの地域再編の経緯を振り返り、自分達の地域について考えていただくとともに歴史資料を保存することの重要性を普及啓発する機会とします。

### 1 会場・会期

- ・鳥取県立公文書館 令和3年12月9日（木）～令和4年1月11日（火）  
（12月29日から1月3日までは休館）
  - ・米子市立山陰歴史館 令和4年1月15日（土）～2月13日（日）（火曜日は休館）
  - ・倉吉博物館 令和4年2月17日（木）～3月13日（日）（月曜日は休館）
- ※いずれも入場無料

### 2 主催等

主 催：公文書館

共 催：米子市立山陰歴史館、倉吉博物館、県市町村歴史公文書等保存活用共同会議

### 3 展示構成

公文書館及び市町村が所蔵する簿冊や地図、ポスター、写真などの資料により、当時の県内市町村の状況を紹介します。今回展示する約120点の資料は大半が初公開のものです。

- （1）地方自治法施行前の合併（昭和初年～昭和22年）
- （2）戦後の合併（昭和22年～昭和26年）
- （3）第1回知事勧告（昭和27年）
- （4）町村合併促進法の成立（昭和28年）
- （5）新市町村建設促進法の成立（昭和31年）
- （6）最終処理方針（昭和33年）
- （7）困難を極めた合併（昭和26年～昭和36年）

## 「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地下水等調査会」第7回会議の開催について

令和3年12月17日  
淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地下水等調査会」第7回会議を開催します。

- 1 日時 令和3年12月25日(土)午後1時から午後3時30分頃まで
- 2 会場 [会議] さなめホール(米子市淀江文化センター:米子市淀江町西原708-4) イベントホール  
[傍聴] (会議室内) さなめホール イベントホール (定員30名)  
(モニター) [西部会場] さなめホール 大ホール (定員70名)  
[東部会場] 県庁(鳥取市東町1丁目220) 講堂 (定員30名)
- 3 議題(予定)
  - (1) 水理地質構造の見直し
  - (2) 地下水シミュレーション  
現況再現解析結果(暫定版)、地表水・地下水影響検討結果(暫定版)
  - (3) 今後のスケジュール
- 4 開催方法  
全委員が会場にて参加される予定。  
(注)新型コロナウイルスの感染状況によっては、会議室内傍聴の取り止め又は定員数の減、インターネットを介したウェブ会議での開催となる場合がある。
- 5 会議の傍聴
  - (1) 会議室内傍聴の希望者が定員を超える場合は、午後0時40分に抽選を行う。抽選に外れた方には、大ホールでモニターにより傍聴していただく。
  - (2) マスク着用、受付での手指の消毒、連絡先等(氏名、住所、電話番号)の記入、検温などをお願いする。(協力いただけない方、風邪症状がある方、味覚・嗅覚に違和感がある方などの傍聴はお断りする。)
  - (3) スマートフォンをお持ちの方は、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)のインストールをお願いする。また、会場に設置する「とっとり新型コロナ対策安心登録システム」の二次元バーコード(QRコード)の登録をお願いする。
  - (4) 録音、撮影は禁止する。
  - (5) 会議の資料、傍聴方法、その他のお知らせは、当室のホームページに掲載する。  
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/sanpai/>)

### <参考> (調査の経過)

- R2. 2.16 第1回調査会 … 調査方針決定  
5.17 第2回調査会 … 調査計画決定  
7. 6 パイロット調査開始(パイロットボーリング(3本)、塩川流量連続観測等)  
9.22 第3回調査会 … パイロット調査結果を踏まえ調査計画の見直し  
(\*)パイロット調査により計画地周辺では概ね3つの帯水層を確認  
→ 本格調査(ボーリング(28本)、地下水位連続観測、水質調査、シミュレーション解析等)へ移行  
11月 各種通年観測スタート
- R3. 2.23 第4回調査会 … 地質構造、地層及び地下水(帯水層)の分布を概ね推定  
(\*)3つの帯水層と2つの難透水層が広く連続して分布  
5.22 第5回調査会 … 水理地質構造(地下水の賦存状態を含む地質構造)の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの設定条件の検討  
(\*)第3帯水層(地表から3番目の地下水の地層)は、孝霊山や鍋山など周辺の山で貯えられた地下水が流れ込んでいる可能性がある。  
(\*)モデルの平面分解能(格子の大きさ)は約30~150m、モデルの底面は標高マイナス1000m程度。[参考]解析領域:140km<sup>2</sup>(うち詳細評価範囲:30km<sup>2</sup>)  
9.25 第6回調査会 … 水理地質構造の解析(途中段階)とシミュレーションモデルの検証(初期設定値による解析)  
(\*)地下水位の等高線図(コンター図)によると、福井水源地の主要供給源である第3帯水層は、計画地周辺及び淀江平野では、概ね南東→北西方向へ流れていると考えられる。  
(\*)シミュレーションモデルに用いた地質データ等を検証し、更に詳細な地下水の流れ等を解析する。